



2024.4

近頃の出来事

vol.26 「いらん世話連盟設立」

上海酒家 店長 廣田 麻美

ども〜、廣田です。こんにちは!

して、ネットで見たちゃけど、〇天の〇〇谷が、とても優秀な従業員の事は、陰で犬呼ばわりしよったげな。そいば知ってショックを受け、辞めたらしい〜んで、業績が悪化したげな! そいで、思い出したちゃけど、毎朝、もちもち浜スタアば、見よちゃけど、1〜2年前かな? CMタイムで、鹿児島に本社のある、〇〇青果のコーマーシャルを見ながら、段々気〜分の悪うなって」きた。社長が、西郷隆盛の格好をして、専務に犬の着ぐるみば着せ、四つん這いにさせ、しかも、首輪はしとるちゃん(〜、おまけにリードまで付けさせとるちゃん(怒)しかも、↓で、丁寧にこっち社長、こっち専務げなっ! ありえんやろ? あまりの怒りに、脳みそがバクすっか思た。気分は、落ち着かせる為に、めっちゃ深呼吸した。横で、広報部長の太郎が、肉球のあいだをなめ、前足の表をなめ、濡れた毛を頭に撫で付け、髪を整えよった。して、いらん世話連盟のウチは、ご丁寧に、その本社に電話をして、社長に代わるように、要求したばってん、断られたちゃけど、胸糞悪いCMは、止めるように、久留米弁で熱く語った。相手も、えらい共鳴し、実は、僕も嫌いです。あのCM! ほ〜れ、誰いでん思えようが(ガッツ)して、すぐこのCMは止めんなら、ACジャパンに告げ口すっぞっ! ち言って電話を切った。太郎は見ると、ウチのあまりの剣幕にびっくしたちゃろうね(笑)大きな声で「ぎよ〜え〜」ち、鳴いた。太郎の鳴き声は、ゴジラそっくりちゃんね! 因みに、そのCMは、2度と出ることもなく、他の従業員が出る。では、セカンドの読者様、来月もよろしくお願ひします。



広報部長 太郎くん

中国料理 上海酒家  
久留米市六ツ門町2-16 第5泉屋ビル6F  
TEL.0942-39-8139  
営:11:30〜14:30, 17:00〜21:00  
休:水曜  
@ shanhaishuka



動物と暮らす vol.55

秋山さんとな〜くん

秋山さんは「久留ねこ屋」として、イベント開催、グッズ販売を行い、保護猫団体・活動家の皆さんを支援する活動を行っています。写真は食いしん坊でごはんが大好きなな〜くん。チュールを2足で立って食べることが得意です(笑)自宅にはな〜くんの他に3匹の猫がいます。庭をキャットランにして、猫たちが自宅と事務所を自由に往来することができるので、スタッフたちや来客者たちと触れあいながら楽しく生活しています。



な〜くん(6歳)

動物を飼うことは、動物の命を預かることです。正しい飼育などの知識を持ち、飼い始めたら、動物の種類に応じた適切な飼育方法をして健康・安全に気を配り、最後まで責任をもって飼ひましょう。

●久留米市動物管理センター TEL.0942-30-1500

SARの WUANTANA飯  
サ〜  
第四十九回  
(焼とり鉄砲 上津店)  
久留米市野伏間1丁目10-14  
TEL:0942-26-8773  
uwantana71



SECONDの愛読者の皆さま、4月になりました。春を感じる季節です。今年は少し遅めの桜の開花のようで、拍子抜けな4月を迎えました。この季節、美しい桜を感じると共に、いつも、鼻がムズムズ。花粉に苦しむ季節でもあります。私の場合、症状はまさに当たりはずれ。毎年、酷かったり、軽かったり。いつも気が病むところです。4月と言えば、新年度が始まり、別れや新しい出会いの時期でもあります。素晴らしい春をお迎えできる事をお祈りします。

さて、今回、ご紹介するUWANTANA飯は、久留米にある焼鳥の名店 焼とり鉄砲です。焼鳥の定番メニューは勿論の事、いろんな一品料理があります。焼鳥が美味しいのは言うまでもありませんが、こちらの、和風のりサラダが、めっちゃくちゃおすすめです。唯一無二のドレッシングが、野菜にとってもマッチして、海苔が良いアクセントになっています。一人でベロリいっちゃいます。他に、カレーちくわや、とり皮の甘辛揚げ、ピザやパスタなど、おすすめの一品メニューも豊富です。焼鳥日本一の街、久留米市の人気焼鳥老舗店のUWANTANA飯。ぜひ一度ご賞味あれ。

拝啓、ねこ様。

vol.3  
イン・ザ・ガーデン yuri



お庭・エクステリア・外構工事  
イン・ザ・ガーデン  
久留米市津福今町207  
TEL.0942-32-6938  
@ yuri\_inthegarden

ようやく暖かくなりはじめ、実家の前のヤマザクラが咲き始めました。このヤマザクラはこの辺りではどこよりも早く咲きます。少しずつ、空気が春の香りを含んできたような。

うちのリリイといえ猫避けになると言われるローズマリーの香りも気にならない様で、まだ外飼いでいた時は自ら近付いて匂いを嗅いだりしていました。

逆に猫の好む香りのもので、キャットニップというハーブがあります。このキャットニップ、和名ではイヌハッカ。犬なのか猫なのかややこしい名前です。ハーブティーや料理にも使え、色々な効能がある為古代ローマ時代から民間療法で使用されて来ました。繁殖力も強く育てやすい為、気になる方は育ててみてはいかがでしょう。

次にこの手紙を書く頃はもう初夏。お天気が良い日には公園でお散歩しようね、リリイ。



Dr.わーだーの養生記

vol.60

「誤嚥で窒息するのは人類だけ」

ここちいいん わだ とよみ  
心臓病院 院長 和田 豊都



救急車が窒息事故で出動する回数は交通事故の2倍以上。多くは食事中に起こりますから、まさに身近なところで起こる緊急事態です。息を吐いたところでのどに詰まることが多いので吐き出せないのです。魚類や鳥類、爬虫類は丸呑みが基本ですが窒息しません。哺乳類は噛み砕いて飲み込みますが人類以外は口の突き当たりのすぐ下に気管の入口のふた(喉頭蓋)があるので飲み込むとすぐ食道に入って行き窒息しません。人類は舌根の先に喉頭蓋があるため飲み込んでも食べ物が入り付いたり詰まったりする場所があるのです。そのおかげで複雑な音声を発することができます。窒息の原因の1位は餅ですが、寿司や団子はともかく、ごはんやパンやおかゆも重症窒息事故の原因となっています。乳歯は前歯から生えてくるのにそれを使わずにスプーンで食べる食習慣。前歯で噛んで口の中に食べ物を入れればしゃべることだってできる量しか入りません。たこ焼きを一口で、はアプナイ! 前歯を使って食べましょう。

■心臓病院(ここちいいん)  
久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129  
診療時間: (月〜土) 9:00〜12:00  
(月火・木金) 19:00〜22:00  
休診日: 日祝・盆・年末年始



家具屋の思い出話 (30)

「学生時代④」

Cozy Flat オーナー 仲 洋史

ホンダのカブ号のダダダッという音が近づいてくる。僕は玄関まで走り何食わぬ顔で待つ。「小柳サーン?...」[「はーい!」]「書留デース。印鑑お願いマース。」[「はーい。ちょっとまってくださ〜い。」]下宿屋の部屋のドアは鍵など掛かっていないし、印鑑の置き場所はだいたいの机の右側一番上の引き出しと決まっている。郵便屋さんが現金封筒を持って来たのが分かった瞬間、僕は小柳先輩に変身したのだった。「お疲れさまでしたー!」郵便屋さんに深々と礼をし、踵を返す。当然のようにこの現金封筒は今日一日私の管理下に置かれた。その夜もいつものようにみんなが一つの部屋に集まっている。「あー何か旨いの食いたいな〜!」「誰か金持っていないのかよ〜! 旨いもの食おうや!」みんなががぶり振りを振り、うな垂れる。話も煮詰まってきた頃、昼間の件を聞いていた先輩が僕に話を振る。「あのサー。お前お金あるんじゃない?」僕「ないっすよ。」すかさず僕が言う「小柳先輩、助けてくださいよ!」お鉢が



Cozy Flat  
筑後市四ヶ所菅原460-1  
TEL.0942-52-3480  
営:10:00〜18:30  
休:水曜、第2・4木曜

回ってきた小柳先輩「俺に金があったら奢りますよ〜!」僕「本当ですか?」「当たり前やろ!」小柳先輩が言い放つ。時は熟した。おもむろに先輩が「お前、昼間なんか預かってなかったか?」と僕に問う。「そう言えば来てました! 代わりに受け取ってききました。小柳先輩!」と現金封筒をおもむろに差し出す。その瞬間小柳先輩が「あちゃー。えっつ? あ〜?」と言って弱々しく僕から現金封筒を受け取る。「今月のお小遣いが...」全員笑ってる。心から楽しそうに。皆がしてやったりと立ち上がり恒例の親子丼を食べに行く用意を始める。下宿屋を出て歩きながら、奢る方も笑い奢られる方も笑っている。何故なら、みんなが同じ事をやられていた。言えば持ち回りの行事みたいなものだった。昔、僕たちへの仕立は現金封筒が多く、その中にはありがたいことに下宿代と幾ばくかのお小遣いが入っていた。親の職業でおおよその現金封筒到着日が決まっていた、25日給料日の親からは27日か28日に届くという具合

もりさんぽ

vol.65 「私たちのまち 久留米は...」

ヒト・モノ・コト ツナグ研究所  
商業活性 人材育成コンサルタント 久保 森住光  
@ moribon0511



春は別れと、出会いの季節。新年度のスタートです。最近、特に気づくのです。「中心市街地では、たくさんの『出逢い』が、毎日のように行われているなあ...」と1アーケード内を見ても、各所で「立ち話し」を行う方が増えました。笑顔で、話されている様子を見ておると、「久しぶり〜」や、「元気だったあ?」の声も聞こえてきます。久留米市の中心地に存在する「久留米はとめき通り商店街」は、逢いたい人に、逢える街だなと、つくづく思う4月なんです。

3月20日には、「第65回宝恵まつり」が街中で行われました。子どもたちの健やかな育ちを願う祭事行事として、長い歴史がありますがコロナ禍で中断を余儀なくされていきました。参加者にお話しを伺うと、「娘が昔、参加させていただいたので孫も是非にと申し込みました」とおっしゃる方が。往來の方は、「この行事を観ると、久留米も春だね」と言われます。長い期間に渡る、先人の心を知りました。

その中で、とても印象深いシーンにも巡り合いました。このコラムで以前にも紹介させていただいた、六ツ門あけぼの商店街の名店「魚ぜん」さん。「宝恵まつり」の手伝いに来た日吉小学校、野球の子らがまた、店主を囲んで話している様子を見ることが出来ました。子らはみな、笑顔! 素敵でした。また、「宝恵まつり」は、多くの支えがあってこそだとも実感しました。久留米大学アメリカンフットボール部の学生さんが多数、籠の担ぎ手として、「いちご姫コンテスト」の皆さんは福娘として参加して下さいました。感謝! 感謝! の一日となりました。

このように、多くの人が集い、楽しむ街をさらに進んで行く取り組みが始まっています。4月29日(月・祝)には、「第6回くめ楽楽国まつり」開催も予定されています。今回は、どんな企画がなされるのか? 気になりますね! 住みやすく、楽しい街づくり。皆さんのお考えをお聞かせください。



「第65回宝恵まつり」の様子

だった。僕の現金封筒には必ず母親の字で無駄遣いしないようにと書いた紙が入っていた。僕は空の現金封筒を卒業するまで全てとっておいた。ありがたくてそれは捨てられなかった。それでも僕らの下宿では損得勘定の前に仲間意識があり、5月病など無縁で毎日が楽しかった。もちろんこれは犯罪だったろうが、その時代にはその時代のルールがあり僕らの下宿屋では許されていた。ネコババすることなど誰も考えていなかったから成立していたのだらう。あの時代はみんな貧乏でジーンズなど履き放して1年くらい洗わなくても平気だったし、それでリングを拭いて食っていた。おおらかで言いたいことを言い合いそれぞれが自由に居ながら、時空を共有していた。僕はジャズを聴いていたし、フォーク好きもいればハードロック系もいた。それぞれの部屋はとても狭くそして寒かった人が集う事で暖かくなり、何より心が熱く居心地がよかった。あの頃はとにかく毎日が充実していたんだ。